

募集人員 1期: 30名 2期: 10名

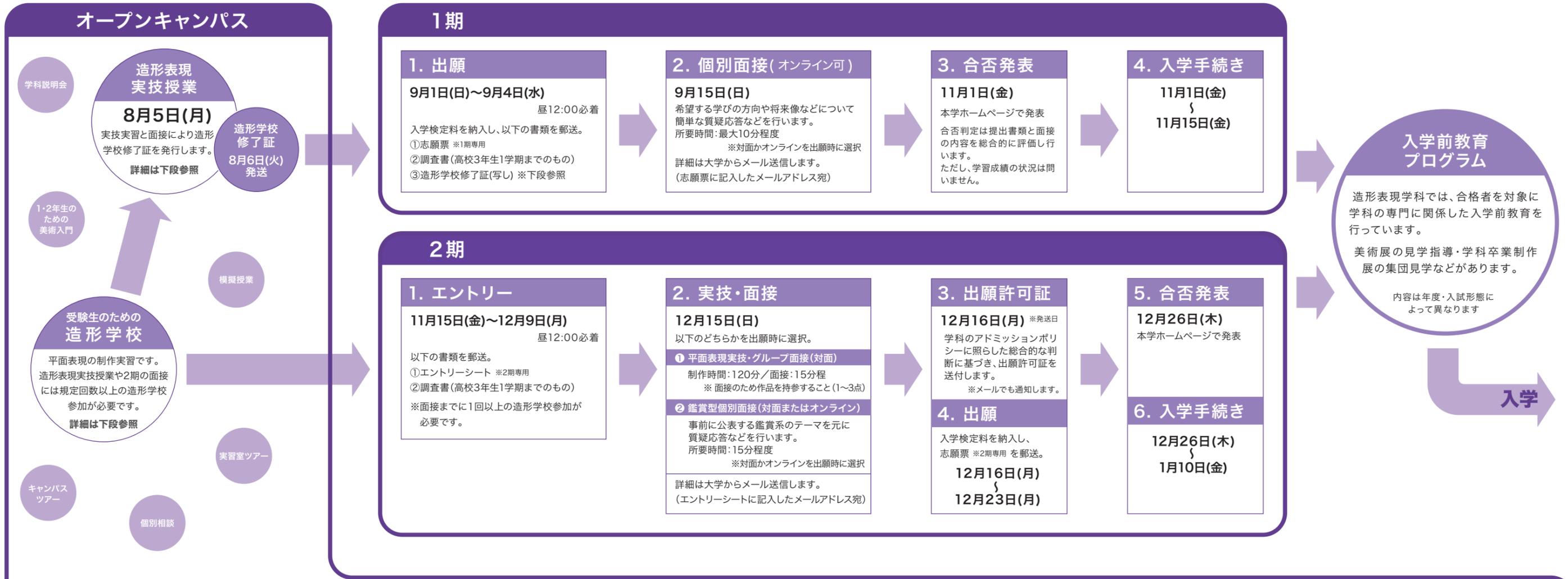
出願資格

- ①日本の高等学校もしくは中等教育学校を卒業または2025年3月卒業見込みの女子、または学校教育法施行規則第150条の規定(第5～7号除く)に該当する見込みの女子
 - ②本学の教育方針に賛同する者
 - ③本学および志望学科を第一志望(専願)とする者
- ※学習成績の状況は問いません
※1期・2期それぞれに追加の条件があります(詳細は下記参照)

過去のデータ

	令和5(2023)年度入試 ※旧形態		令和6(2024)年度入試 ※旧形態	
	1期	2期	1期	2期
募集人員	27	10	30	12
エントリー	57	20	36	7
志願者	30	14	29	6
合格者	30	14	29	6
倍率	1.9	1.4	1.2	1.2

※令和7年度から入試形態が変更されました。上記は変更前の参考データです。



受験生のための造形学校

第1回	4/21(日)	1回開講	実技型(対面)
第2回	5/19(日)	2回開講	実技型2回(対面)
第3回	6/9(日)	2回開講	実技型2回(対面)
第4回	7/14(日)	2回開講	実技型2回(対面)
第5回	8/4(日)	2回開講	実技型2回(対面)
第6回	8/24(土)	2回開講	実技型(対面)・鑑賞型(対面)
第7回	9/29(日)	1回開講	特別回(対面)
第8回	11/10(日)	1回開講	実技型(対面)
第9回	12/8(日)	2回開講	実技型(対面)・鑑賞型(オンライン)
第10回	12/14(土)	2回開講	実技型(対面)・鑑賞型(オンライン)

造形学校は、造形表現の基礎を学ぶ平面表現を中心とした制作実習です。
毎回異なる様々なテーマで実施します。制作・講評会を通して作品やテーマの捉え方を指導します。美術の授業を取っていない人でも安心して参加できます。

※ 日程・内容は変更になる場合があります。最新情報はホームページで発表します。
※ 実施時間・予約方法・各回の課題テーマなどの詳細は学科ホームページで発表します。
※ 造形表現実技授業には2回以上・2期面接には1回以上の造形学校参加が必要です。

造形表現実技授業(造形学校修了証)について

実技授業は、造形学校での学びの成果を評価する実技実習と面接です。

造形学校に2回以上参加すると、実技授業を受けられます。実技授業では、この場で制作した作品や制作姿勢、面接の様子などを学科の教員が評価します。評価の結果、学科での学びを始めるに十分な段階に達したと認められた場合に、これを証明する造形学校修了証を発行します。

造形学校修了証は、造形表現学科での学びを始められることを認定するものです。
造形学校修了証は「造形表現 体験授業入試1期」の出願に必要です。

● 実施内容

- ①実技実習:平面表現(制作時間 120分)
- ②面接:グループ面接(対面) 作品を持参すること。1点以上3点まで。

● 実施日

実施日: 8月5日(月) 当日の時間などの詳細は、受け付け後にお知らせします。

※ **実技授業に参加するには、事前に申し込みが必要です。** 申し込み期間:7月5日(金)～7月29日(月)

造形表現実技授業 申し込み方法

実技授業に参加するには、事前に申し込みが必要です。

- ①実技授業申込書に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
- ②各自で封筒を用意し、封筒の表に「造形表現実技授業申し込み書類在中」、封筒の裏に住所・氏名を記入してください。
- ③申し込み期間(7月5日～7月29日)に着くように特定記録郵便にて郵送してください。
送付先:東京家政大学アドミッションセンター(申し込み最終日は昼12:00必着)
- ④実技授業の当日の時間・会場案内は、受け付け後に郵送でお知らせします。
※実技授業申込書はホームページからも出力できます。

※ **実技授業を受けるには、当日までに2回以上の造形学校の参加が必要です。**

面接時の持参作品について

実技授業または2期①平面表現実技・グループ面接では、作品を持参してください。(1点以上3点まで)
高校の授業や部活動等で制作したものだけでなく、自主的に制作したもの(イラスト・デッサン・その他)でも結構です。
平面・立体は問いません。持ち込めない事情のあるものは、写真や映像でも結構です。